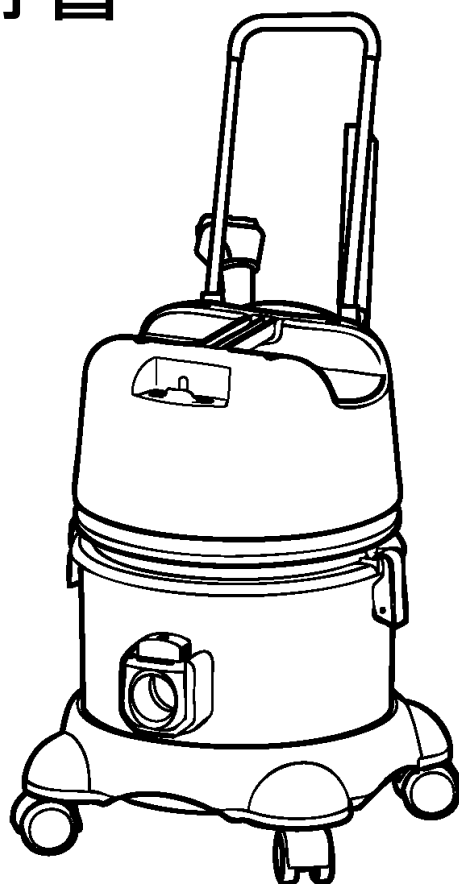


Suiden

紙パック式クリーナー

SAV-110KP

取扱説明書



吸引対象物	
一般ゴミ	○
微粉じん	×
水	×
油類	×

もくじ

1	安全のために必ずお守りください	1
2	仕様と付属品	3
3	各部の名称	4
4	ご使用方法	4
	1. 押し手の取付け方	4
	2. 電源コードの接続	5
	3. ホースの接続と外し方	5
	4. ノズルの接続	5
	5. 風量調節穴	5
	6. スイッチ	6
	7. クリーナー上部の着脱方法	6
	8. 紙パックフィルターの交換	6
	9. ノズル収納スタンド	7
	10. お手入れ	7
	11. エンドフィルターの掃除	7
5	安全のための点検のお願い	8
6	こんなときは(故障かな?と思ったら)	9
7	アフターサービスと保証について	11

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要ときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。







世界のブランド〈Suiden スイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

日本国内100V専用(単相交流100V以外の電源では使用できません)

⚠ 注 意



<p> 10μm(マイクロメートル)以下の粉じんは吸引しない。 * 本機は極小微粉じん吸引には適しません。 ①微粉じんがモータ内部へ入り込み、モータ焼損を原因とした火災の恐れがあります。 ②微粉じんがフィルターを通過して排気口から吹出し、雰囲気汚染の原因になります。</p>	
<p> 動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。 * 感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。</p>	<p> 交流100V以外で使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p> <p> 電源コードは延長しない。 * コードが発熱して火災の危険があります。</p>
<p> 使用する電源回路を事前に確認する。 * 許容電流15A以上の電源回路が必要です。許容電流が合わないと、過熱などにより事故の恐れがあります。</p>	<p> 運転中に吸込み口や吸気口・排気口をふさがない。 * モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。</p>
<p> 電源コード先端のアースクリップでアースする。特に、床に水気のある所では必ずアースする。 * アースしないと、感電の危険があります。</p>	<p> パイプやホースに吸引物などが詰まって吸引が止まったときは、すぐにスイッチを切る。 * モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。</p>
<p> 屋外の雨水のかかる場所で使用しない。 * 絶縁劣化による感電・漏電火災・故障の原因になります。</p>	<p> 浮遊粉じんの多い雰囲気で使用しない。 * 吸気口からモータ内部に浮遊粉じんが入り込み、モータ焼損による火災の原因になります。</p>
<p> 塩素系切削油がミストや油煙化した雰囲気内で使用しない。 * 樹脂部品に付着すると化学変化が起きて樹脂が割れる恐れがあり、割れた部品などでケガをしたり、部品破損により思わぬ事故が起きる危険があります。</p>	<p> 温度の高い(40°Cを越える)場所で使用しない。 * 火災の原因になります。 雰囲気温度範囲は0°C~40°Cです。</p> <p> 湿度の高い場所で使用しない。 * 感電・火災・故障の原因になります。 雰囲気湿度80%以下でご使用ください。</p>
<p> 腐食性のものを含んだ粉体は吸引しない。 * モータ焼損や故障、事故の原因になります。</p>	<p> 鋭利な切粉は吸引しない。 * 紙パックフィルターを破損し、モータ焼損による火災の原因になります。</p>
<p> シンナーなどの溶剤、揮発性・爆発性ガス・粉じん、火のついたたばこの吸いながら、熱を持った物質などは吸引しない。 * 爆発・火災、フィルター焼損の原因になります。</p>	<p> セメント粉、合成樹脂粉など固化するものや、金属粉、カーボン粉など導電性の微粉じん、薬品などを吸引しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>
<p> 火気に近づけない。 * 本機の変形により、ショートして発火することがあります。</p>	<p> 吸込み口やノズルの中に手や指を入れない。 * ケガの原因になります。</p>
<p> クリーナーを移動するときは、押し手を持って動かす。 * 電源コードやホースを引っ張って本機を移動すると、電源コードやホースの破損などにより、火災・感電・汚染事故の原因になります。</p>	<p> ホースを踏んだり、急激に引っ張らない。 * ホース破損による汚損事故の原因になります。</p> <p> 電源プラグにピンやゴミを付着させない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>
<p> 電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>	<p> 電源コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 * コードが発熱して火災の恐れがあります。 必ず伸ばした状態で使用してください。</p>
<p> 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物をのせたり挟み込まない。 * 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>	<p> 使用後は、電源コードが踏まれないようにする。 * 電源コードが劣化したり、傷つくと危険です。 押し手などに巻いて保管してください。</p>

⚠ 注 意

 <p>使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 *ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</p>	 <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 *感電やショートして発火することがあります。</p>
 <p>作業後は、タンク内のゴミを必ず捨てる。 *ゴミをためたままにすると、ゴミが腐敗や化学変化をおこして、健康を害する要因になることがあります。</p>	 <p>ゴミを捨てるときは、保護手袋や安全靴を着用する。 *ゴミなどで手を傷つけたり、ケガをする恐れがあります。</p>
 <p>くわえたばこをしたままゴミを捨てない。 *たばこの火がゴミに燃え移り、やけどや火災の原因になります。</p>	 <p>ゴミを捨てるときは、防じんメガネやマスクを着用する。 *健康を害する恐れがあります。</p>

●保守・点検の際の注意事項

⚠ 注 意

 <p>修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対に行わない。 *発火したり異常動作をすることがあります。</p>	 <p>お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 *感電やケガをする恐れがあります。</p>
--	---

2 仕様と付属品

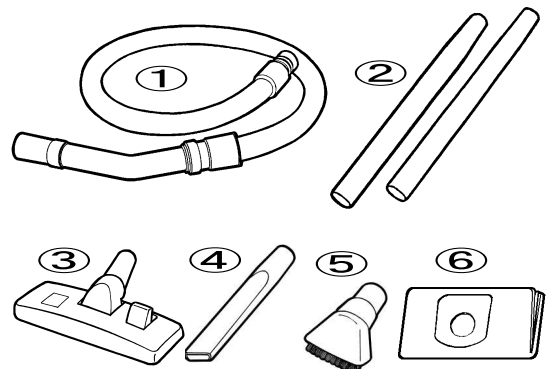
仕様表

品 番	SAV-110KP
電 源	100V
消 費 電 力	1,100W
電 流	11.5A
風 量	2.3m ³ /min
最大真空圧	23kPa
フィルター面積	0.3m ²
タンク実容量	6L
ホース	径φ32×長さ1.8m
電源コード	長さ8m（アースクリップ付き）
本体寸法	幅340×奥行360×高さ485mm ※押し手をつけた場合：高さ770mm
標準質量	9.1kg（本体のみ 7.2kg）

付属品

- ① φ32ホース（長さ1.8m）……………1本
- ② φ32直管パイプ（2本）……………1組
- ③ φ32フロアノズル……………1個
- ④ φ32スキマノズル……………1個
- ⑤ φ32角ブラシノズル……………1個
- ⑥ 紙パックフィルター……………1枚

※紙パックフィルターは、タンクに装着されています。

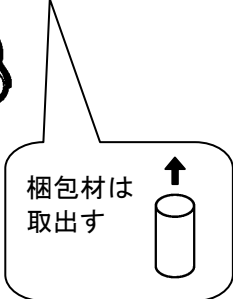
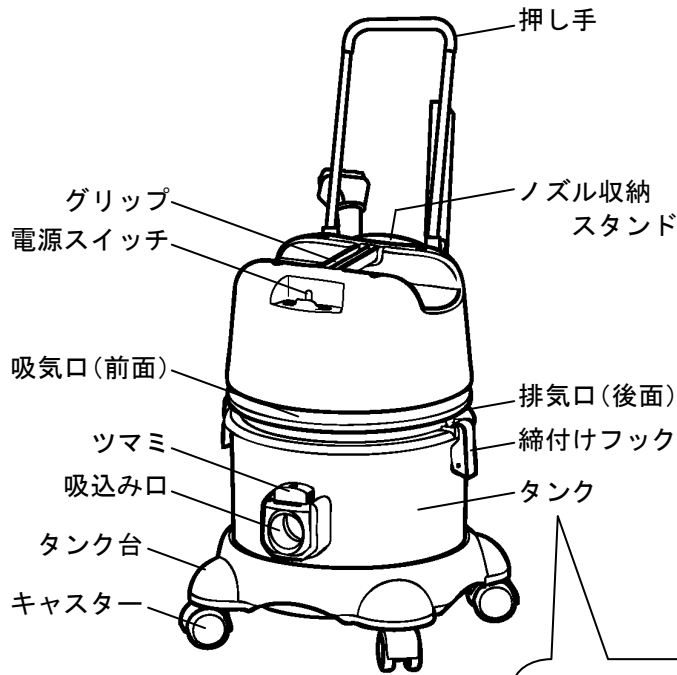


装着済み

注記

- ①許容電流15A以上の電源回路が必要です。使用される電源回路をご確認ください。
- ②標準質量には、φ32ホース、φ32直管パイプ、φ32フロアノズルの質量を含みます。

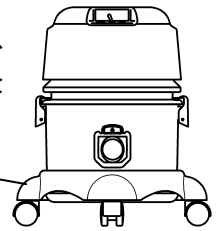
3 各部の名称



ご使用の前に

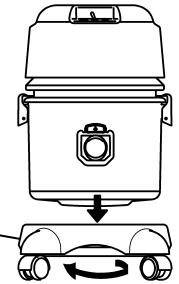
本体保護のため、
出荷時はタンク台
が右図の向きにな
っています。

タンク台



本体をタンク台から
抜き、45度回転
して再度装着して
ご使用ください。

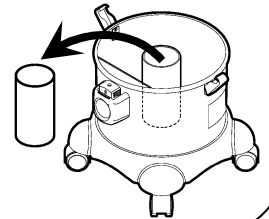
タンク台



タンクの中に筒状の梱包材が入っ
ています。

梱包材を必ず
取出してくだ
さい。

※6ページ参照



4 ご使用方法

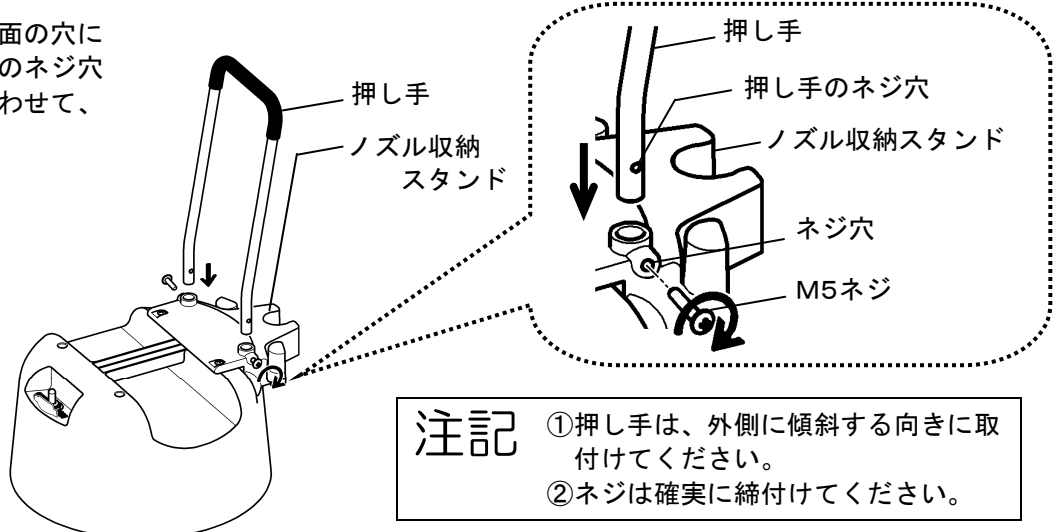
安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

注記

- ①本機は<軽じん用>です。10 μ m以下の微粉じんの吸引はモータ焼損事故の原因になります。
※10 μ mの目安は、指でつまんですり合わせたとき、指紋に入るくらいの大きさです。
- ②横倒しで使用しないでください。

1. 押し手の取付け方

ノズル収納スタンド天面の穴に
押し手を差込み、側面のネジ穴
と押し手のネジ穴を合わせて、
M5ネジで締付けます。



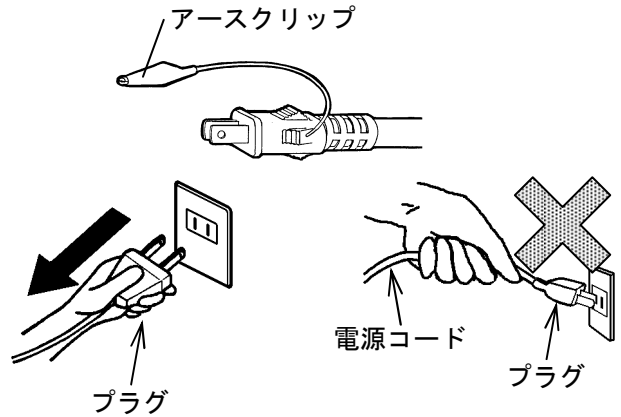
注記

- ①押し手は、外側に傾斜する向きに取付けてください。
- ②ネジは確実に締付けてください。

2. 電源コードの接続

- ① 電源プラグを100Vのコンセントへ差込みます。アースクリップでアース線に接続してください。
- ② コンセントから抜くときは、必ずプラグを持ち、真っ直ぐ抜いてください。

注記 電源コードを横に引っ張ってプラグを抜くと、プラグ先端が変形して使えなくなります。



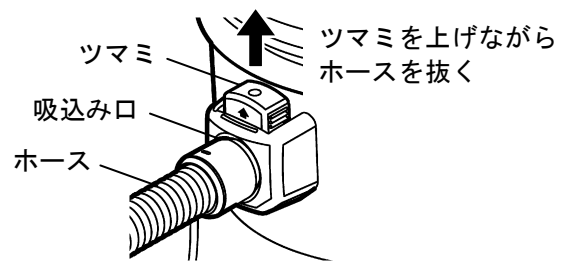
3. ホースの接続と外し方

(1) ホースの接続

ホースを、吸込み口にカチッと音がするまで差込んでください。

(2) ホースの外し方

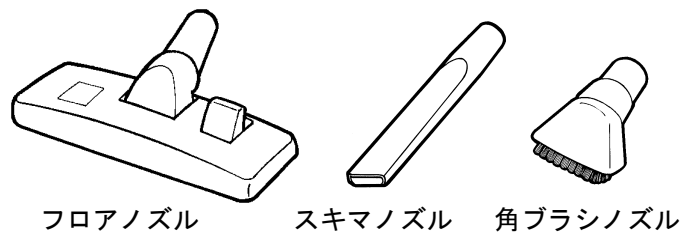
吸込み口のツマミを上げながら、ホースを抜いてください。



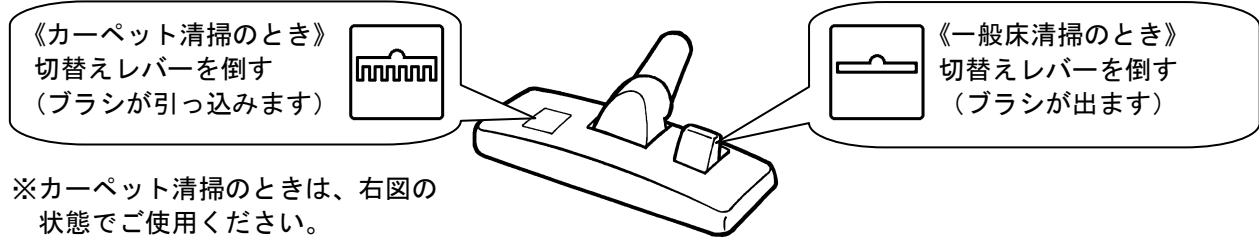
4. ノズルの接続

ホースに、直管パイプやノズルを接続してください。

- フロアノズル : 床面の清掃など、一般的な清掃に
- スキマノズル : 隙間などの清掃に
- 角ブラシノズル : 棚の上などをお掃除するときに

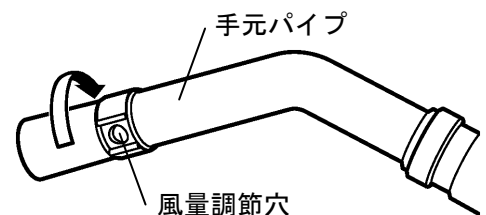


■フロアノズルのご使用方法■



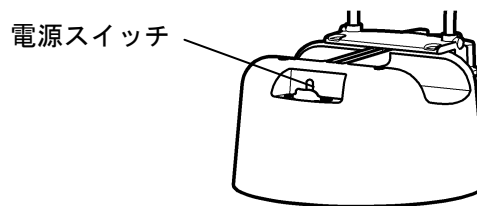
5. 風量調節穴

手元パイプに風量調節穴があります。通常のお掃除には、風量調節穴を閉じてください。風量調節穴を開けると、吸引力を弱めることができます。



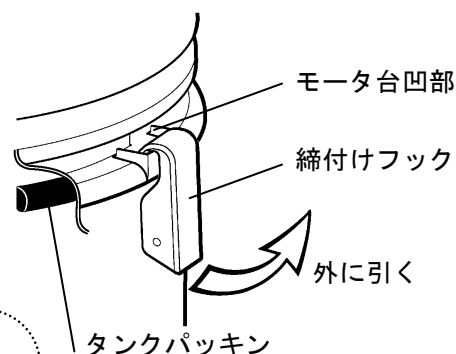
6. スイッチ

本体上部に、電源スイッチがあります。



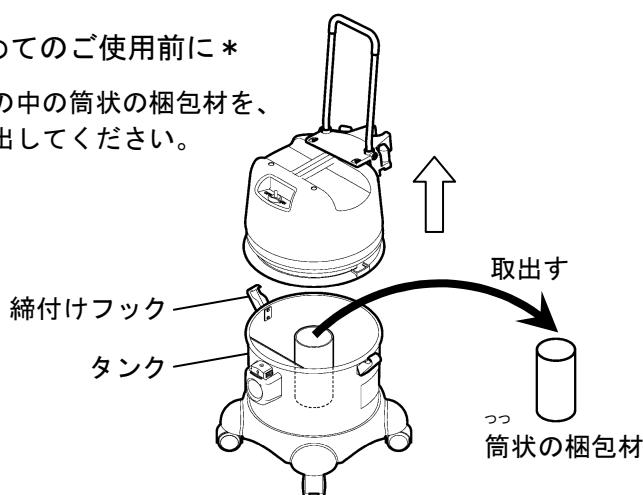
7. クリーナー上部の着脱方法

- ① クリーナー上部は、締付けフックでタンクに固定しています。
- ② 締付けフックは、下部を外側に引くと外れます。
- ③ 再び取付けるときは、クリーナー上部とタンクの向きを合わせ、モータ台の凹部に締付けフックを止めてください。
※クリーナー上部とタンクの向き合わせは下記図参照。



* 初めのご使用前に *

タンクの中の筒状の梱包材を、必ず取出してください。



8. 紙パックフィルターの交換

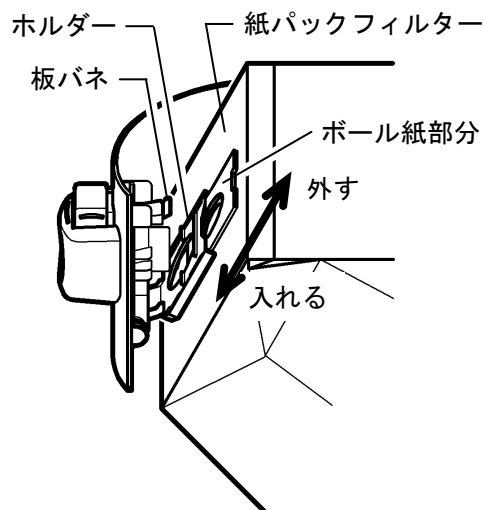
- 注記**
- ① 紙パックフィルターは、正しく装着してください。
正しく装着していないと、ゴミが漏れて、クリーナーの故障の原因になります。
 - ② 紙パックフィルターに無理な力を加えないでください。破れる原因になります。

(1) 外し方

板バネを軽く持ち上げ、ホルダーからボール紙部分を外します。
ホルダーの溝に沿って引き上げます。

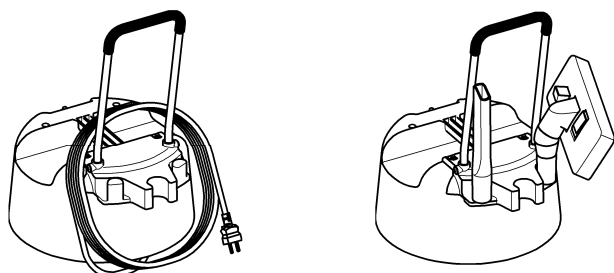
(2) 装着方法

紙パックフィルターのボール紙部分を、ホルダーの溝に沿って差入れます。
溝の底まで差入れると、板バネが閉まります。
パチッと音が鳴るまで差入れてください。

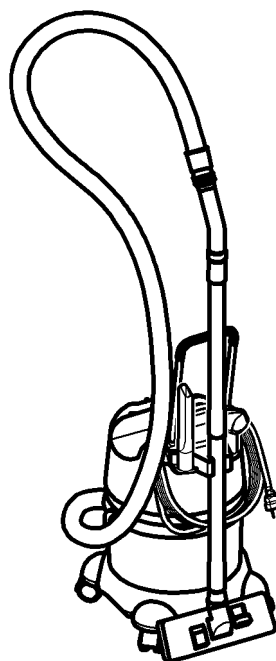


9. ノズル収納スタンド

掃除機を使わないときは、電源コードやノズル類をコンパクトに収納できます。



注記 クリーナーをご使用の際は、電源コードを必ず伸ばした状態で使用してください。
※巻いたままでお掃除をすると、電源コードが発熱して火災の危険があります。



10. お手入れ

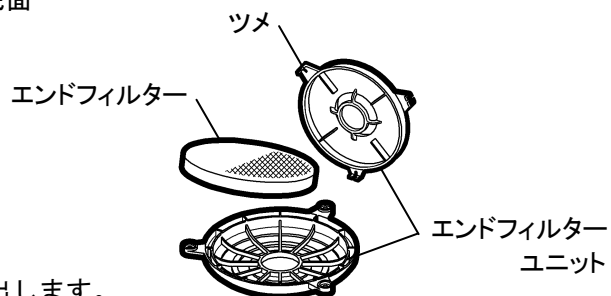
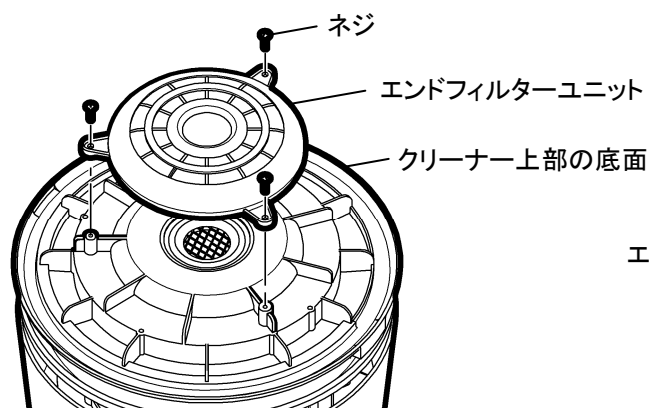
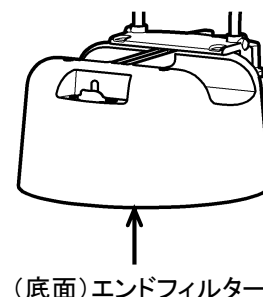
ホースやクリーナー外装が汚れたら、中性洗剤のうすめ液に浸したぞうきんやウエスを固く絞って拭いてください。

注記 石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。

11. エンドフィルターの掃除

クリーナー上部の底に、エンドフィルターがあります。
エンドフィルターは、粉じんがモーターに入らないように保護しています。
エンドフィルターが目詰まりしていたら、外して掃除してください。

- ① タンクからクリーナー上部を外し、底面が見えるようにします。
- ② ネジ3本を外し、エンドフィルターをユニットごと外します。



- ③ ユニットの開けて、中からエンドフィルターを取出します。
- ④ エンドフィルターに付着した粉じんをはたき落としてください。
- ⑤ エンドフィルターユニットを元のように組みます。3本のツメを確実にはめてください。
- ⑥ ネジ3本でクリーナー上部底面に取付けてください。

6 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

故障かな？と思ったら、まず下記項目をご確認ください。

症 状	調べるところ	直し方
●運転しない。	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込み直します。
	電源ブレーカーが落ちていませんか？	電源ブレーカーが落ちた原因を取除いてください。
	電源コードが断線していませんか？	電源コードの交換が必要です。
	過熱防止装置が働いていませんか？	スイッチを切り、パイプやホースに吸引物などが詰まっていれば取除いてください。過熱防止装置は自動復帰です。約15分後、スイッチを入れると運転再開できます。
	本体内蔵のヒューズが切れていませんか？	修理技術者に連絡して、ヒューズが切れた原因を取除いた上、専用の管ヒューズを交換してください。
	モータの寿命ではありませんか？	モータの交換が必要です。モータの寿命は、約500時間が目安です。
●吸引しない。 ●発生音が高くなった。	紙パックフィルターが吸引物で一杯になっていませんか？	紙パックフィルターを交換してください。
	ホースや吸込み口に吸引物などが詰まっていますか？	吸引物などを取除いてください。
	タンクに亀裂が入っていませんか？	タンクの交換が必要です。
●吸引力が急に弱くなった。	ホースや吸込み口に吸引物などが詰まっていますか？	吸引物などを取除いてください。
	ホースやパイプが破れていませんか？	ホースやパイプを交換してください。
	クリーナー上部とタンクパッキン、タンクは完全に密閉していますか？隙間ができていませんか？	クリーナー上部とタンクパッキン、タンクを正しく合わせて、締付けフックで確実に固定してください。
	紙パックフィルターが目詰まりしていませんか？	紙パックフィルターを交換してください。
	エンドフィルターが汚れていませんか？	エンドフィルターを掃除してください。
	モータが異常回転していませんか？	修理技術者に連絡して、故障のモータを交換、または故障原因を取除いてください。
●紙パックフィルター交換後、モータは回転するが吸引しなくなった。	紙パックフィルターが正しく装着されていますか？	正しく装着してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対にしないでください。

※上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

*****ご存知ですか？ 粉じん爆発と静電気防止に関する豆知識*****

●危険防止のための注意事項

- ❖ 本機は正常なご使用方法で運転する場合、本機自体より事故を発生することはありません。
- ❖ しかし吸引する粉じんの種類や周囲の雰囲気により、種々の火種、静電気の放電による火花などにより、ガス爆発や粉じん爆発を起こす場合があります。
- ❖ 引火性、爆発性、腐食性ガスの雰囲気内および爆発性粉じん、可燃性粉じんが浮遊、または堆積する可能性のある危険場所では絶対にご使用にならないようご注意ください。
- ❖ 参考のため、爆発性ガスおよび粉じんの一部を表記します。

《主な爆発性ガスの種類》

爆発等級	発火度					
	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6
1	アセトン、トルエン アンモニア、プロパン 一酸化炭素、ベンゼン エタン、メタノール、酢酸 メタン、酢酸エチル	エタノール 酢酸イソアミル 1-ブタノール ブタン 無水酢酸	ガソリン ヘキサン	アセトアルデヒド エチルエーテル		亜硝酸エチル
2	石炭ガス	エチレン エチレンオキシド	イソブレン			
3	水性ガス 水素	アセチレン			二硫化炭素	硝酸エチル

《主な爆発性および可燃性粉じんの種類》

爆発性粉じん	可燃性粉じん	
	導電性のもの	非導電性のもの
マグネシウム、アルミニウム アルミニウムブロンズ アルミニウム(含脂)	亜鉛、チタン、コークス、カーボンブラック 鉄、石炭	小麦粉、とうもろこし、砂糖、ゴム、染料 ポリエチレン、フェノール樹脂、ココア リグニン、米ぬか、硫黄

●静電気の発生とその防止について

- ❖ 静電気の発生は、二つの物体の接触分離など力学的運動に伴い、本来電氣的に中性状態である物体上でプラスまたはマイナスのどちらか一方の極性電荷が他方よりも過剰となる現象です。
- ❖ クリーナーや集塵機の場合、粉じんを吸込むときに、その粉じんとホースまたはダクトの内面の接触・摩擦移動により、静電気がホースやダクトまたはクリーナー・集塵機本体、フィルターに蓄積される状態を言います。
- ❖ そのため、この蓄積された電荷がダクト内や本体内のフィルターなどからアースに対し放電状態で中和される際に周囲の可燃性の粉じんなどに引火し、いわゆる粉じん爆発を起こす要因になります。
- ❖ 静電気発生を極力少なくするため、本体およびダクトはアースに接続していただくと同時に、フィルターは帯電防止用フィルターをご使用ください。これは、高電圧になる前に大地に放電して障害を少なくするためです。
- ❖ 静電気は空気が乾燥するほど、また、微粉じんを高速で吸引するほど多く発生します。
- ❖ 物質の帯電序列の例を参考のため下記に表示しました。

表中、二つの物質を摩擦または剥離したとき、上部の物質がプラスに帯電し、下部の物質がマイナスに帯電します。ホースやダクトまたはフィルターの材質と粉じんが接近したもののほど帯電は少なくなります。

《帯電序列の例》

金属	繊維	天然物質	合成樹脂
(+)	(+)	(+)	(+)
鉛	羊毛	アスベスト	エポナイト
亜鉛	ナイロン	人毛・毛皮	ポリスチレン
アルミニウム	レーヨン	ガラス	ポリプロピレン
クローム	絹	雲母	ポリエチレン
鉄	木綿	木材	塩化ビニル
銅	麻	人の皮膚	ポリテトラフルオロエチレン
ニッケル	ガラス繊維	紙	
金	アセテート	ゴム	
白金	ビニロン	セルロイド	
	ポリエステル	セロファン	
	アクリル		
	ポリ塩化ビニリテン		
(-)	(-)	(-)	(-)

7 アフターサービスと保証について

⚠ 注意



- 当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
- * 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
 - * 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
 - * 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。
ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検



★長年ご使用のクリーナーの点検を！

このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

お願い
異常があれば
ご使用を
即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店名	お買い上げ年月日
	年 月 日
所在地	TEL
	FAX

《製品の廃棄について》 本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-285-240

FAXでのお問い合わせは (0745)33-3618

Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com

株式会社 **スイデン**

奈良県生駒郡三郷町夕陽ヶ丘3-26 ホームページ <http://www.suiden.com>